

水稻新品種「あきたこまちR」

秋田県農業試験場

1 この品種を開発した目的

カドミウム汚染米は出穂期前後の湛水管理で発生を抑制できますが、小雨で水不足の年など、湛水管理ができない条件では発生するリスクがあります。このため、カドミウム汚染米の発生リスクを抑制できるカドミウム低吸収性品種を開発しました。

2 品種の特性・用途・セールスポイント

- ①「あきたこまち」と比較して出穂期、成熟期や稈長、穂長、穂数等の主要特性は同等です
- ② 収量、玄米の大きさ(千粒重)等は「あきたこまち」とほぼ同等で、食味は「あきたこまち」並の良食味です
- ③ 茎葉及び玄米のカドミウム濃度は「あきたこまち」より著しく低くなります



あきたこまちR あきたこまち

[玄米]



あきたこまちR

あきたこまち

「あきたこまちR」の生育および収量

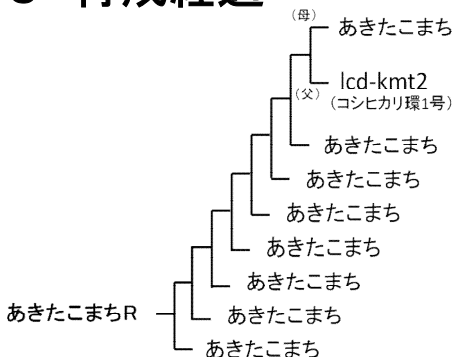
品種名	出穂期 月/日	成熟期 月/日	成熟期調査			倒伏 0~5	葉いもち 0~5	穂いもち 0~5	玄米重 kg/a	千粒重 g	玄米品質 1~9
			稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²						
あきたこまちR	7/31	9/11	72.5	17.6	390	0.0	0.0	0.0	56.0	22.8	2.6
あきたこまち	7/31	9/10	73.4	17.1	405	0.0	0.0	0.0	56.4	22.9	2.4

注) データは農業試験場における2017~2020年の平均。

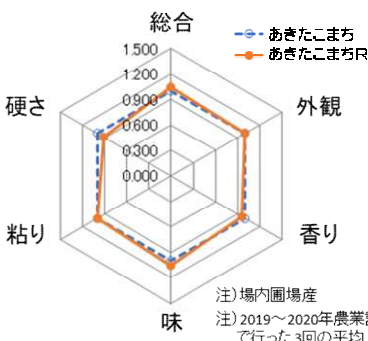
注) 倒伏は数値が小さいほど倒伏しにくいことを示す。

注) 玄米品質は数値が小さいほど優れていることを示す。

3 育成経過



4 食味官能評価



注) 場内圃場産

注) 2019~2020年農業試験場で行った3回の平均

5 カドミウム濃度

年次		あきたこまちR	あきたこまち
2017	茎葉 (mg/kg)	0.16	1.75
	玄米 (mg/kg)	0.01*	0.17
2018	茎葉 (mg/kg)	0.04*	1.12
	玄米 (mg/kg)	0.01*	0.16
2019	茎葉 (mg/kg)	0.06*	1.07
	玄米 (mg/kg)	0.01*	0.14

注) *は定量下限以下。

※秋田県内現地圃場で栽培(土壌カドミウム濃度0.46~0.63mg/kg)。

関連特許：特許第5850475号(農研機構)

★この品種に関する問い合わせ先★

秋田県農業試験場 電話 018-881-3312